

＜縄文ツツジ＞水田に映え 枝周り20メートル（毎日新聞より）

写真は2013年5月10日現在のもの



2010年05月28日の記事より

樹齢が分からないほど古く、枝周りが20メートルもある、岩手県大槌町小鉾の鉄工業、小笠原長一さん（60）方の「縄文ツツジ」が見ごろを迎えた。深紅の樹姿を田植えが終わったばかりの水田に映し、山里の初夏を彩る。

遠い昔から花の営みを繰り返してきたというロマンから、その名が付けられた。今年は天候不順でいつ咲くのか家族をやきもきさせたが、10日近く遅れての装いとなった。一陣の風で八重桜の淡紅色の花びらがツツジの樹上に舞い、輝き、思いがけなく花の競演を見せてくれた。

下の写真は2013年5月26日現在のもの



新山高原からの山水が日夜根元を浸し、養分をたっぷりと吸い込んで樹勢を保つ。その花の艶（つや）を愛（め）でてやるのが、小笠原さんの至福の時でもある。【鬼山親芳】

色が少なかった東北地方にも、ようやく春が訪れ色鮮やかな花が咲き乱れてきました。梅Pの現場もこのそばにあります。



＜新山(しんやま)石割桜＞大槌町開拓史のシンボル

スクープ 大槌の石割桜 ねつ造疑惑



一般視聴者からの投稿写真

「犯人グループが石を割っている姿を偶然捕えました。」
下は無残に割られた新山高原の巨石

って、事実は違いますよ。もちろん。石割桜周辺の下草を刈る活動をきちんとしてました。鳥居と階段周辺もきれいになりました。
石割桜周辺もつつじが群生しており、鮮やかな花を見せています。五月の下旬でまだツボミですが、これから百花繚乱を予感させる場所です。

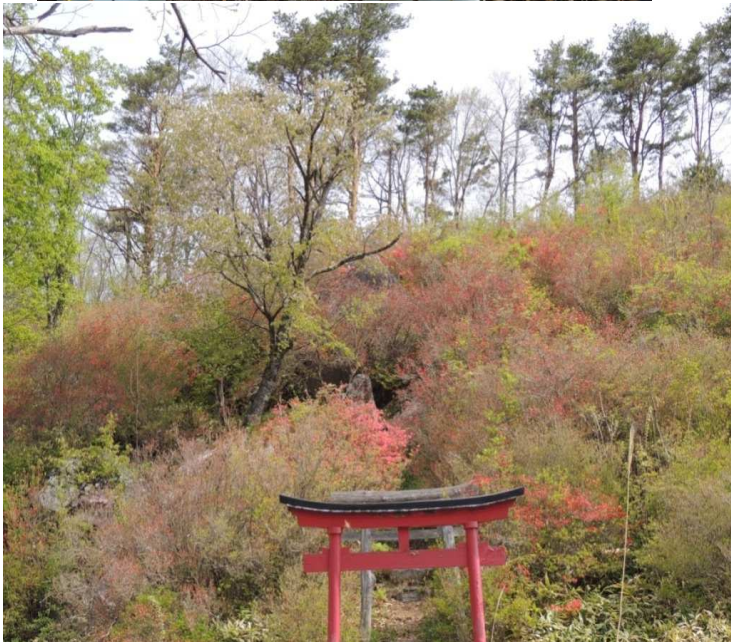


この地区は「大和田タケシ」さんという方が切り開き、故郷の自然の素晴らしさを見直すきっかけとして開拓されたそうですが、残念ながら震災の犠牲になられてしまいました。

新山に上る道路沿いの桜、一本一本に名前をつけて歩かれたのも大和田さんの功績だそうです。地元の方々に愛されたこの景色を護り、地元の方が心から安らげる場所として見守り続けることも必要だと考えます。

新山つつじの色は鮮やかなオレンジ色で咲き誇るさまは見事の一言です。

地元の方々と、関わったボランティアが協力し合って地域の復興を願い続ける場所として存続できればと思います。



左の写真は5月10日の様子
参道の階段は笹に覆われて階段が見えない状態でした。

右は最新の状況、道路わきの擁壁に咲いたつつじと、新山高原の芝桜も顔をのぞかせていました。





← 野バラを刈取りすっきりとした現場



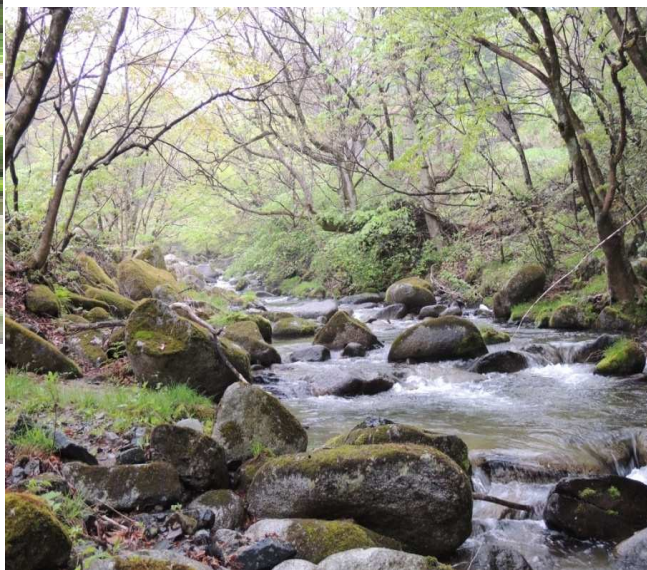
雑草の根を取り除き、梅の苗木を15本ほど植えました。将来的には梅ジャムなどの特産品になればと思っています。現場ではトイレと水飲み場も確保、綺麗な湧水でオイシイ〜!

今後は、桜とツツジの苗木を植えて公園化に取り組みたいと思います。



←現場には休憩に最適な木陰もあります。

↓ 奥入瀬溪流にもひけをとりません。



← 溪流の中で咲き誇る桜 看板では「山の神桜」と命名されていました。

梅ちゃんプロジェクトの作業

表面的なバラやススキは刈り取りましたが、根がビッシリと土の中を覆い尽くしていますから、草の根を丁寧に掘り起こして取り除き、芝生にしたいと思っています。理想的には子供たちが駆け回り、転んでも怪我をしない地面を目指し、心からくつろげる空間を創造したいと考えています。

桜とつつじは観賞用として植栽し、梅の木は地域の特産品造りに役立てようと思います。梅ジャムや、昆布・ワカメと梅を組合わせた惣菜や健康食品づくりなど、情報提供の場所として発信できればと思っています。

ボランティアと何よりも地元の方々が気軽に参加してもらい、交流をしながら作業を進められればと思っています。

金浜に看板が立ちました。



左は看板製作者の平塚さんです。宮古市の「森を考える会」の方で、間伐材の調達で知り合いました。彼も被災地のために何かしたいということで、ボランティアにも極力参加したいと言ってくれています。

「森を考える会」の活動も意義深いものがあり、故郷の海を豊かにするためにも森の果たす役割を考えなおし、将来に繋がる活動をしています。「広報みやこ」に活動日なども掲載されていますから、一度参加してみることも有りです。宮古市のホームページからの閲覧もできます。

下の写真2枚は、「森を考える会」のアジト。田老町の山の中にあります。いずれは大槌の梅Pの拠点も、間伐材を使ったログハウスで・・・(交渉中)



金浜おんせん完成?????



あら？ドラム缶の脇のマークは・・・

埼玉の最強ペア、知念さんと加藤さんの協力で実現しました。かわいキャンプには無かった湯船です～。

雨水を貯めてお風呂に・・・ なる予定。

農作業用の水を確保することができました。 今年は雨が少なく気温も低いので、ヒマワリの成長も遅れていますが、なんとか盛り返してもらいたいものです。

誰か、ソーラーパネルも支援してくれないかな～？

